

## 平成22年3月期 第3四半期決算短信

平成22年2月5日

上場会社名 株式会社 千葉銀行

上場取引所 東

コード番号 8331 URL <http://www.chibabank.co.jp/>

代表者 (役職名) 取締役頭取

(氏名) 佐久間 英利

問合せ先責任者 (役職名) 執行役員経営企画部長

(氏名) 大久保 寿一

TEL 043-245-1111

四半期報告書提出予定日 平成22年2月12日

特定取引勘定設置の有無 有

配当支払開始予定日 —

(百万円未満、小数点第1位未満は切捨て)

## 1. 平成22年3月期第3四半期の連結業績(平成21年4月1日～平成21年12月31日)

## (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は対前年同四半期増減率)

	経常収益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%
22年3月期第3四半期	176,729	△9.0	38,052	234.3	26,080	245.4
21年3月期第3四半期	194,220	—	11,382	—	7,550	—

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
22年3月期第3四半期	29.18	—
21年3月期第3四半期	8.44	—

## (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
22年3月期第3四半期	10,349,080	587,933	5.5	643.27
21年3月期	10,062,926	537,671	5.2	587.51

(参考) 自己資本 22年3月期第3四半期 574,934百万円 21年3月期 525,129百万円

(注)「自己資本比率」は、(期末純資産の部合計－期末少数株主持分)を期末資産の部合計で除して算出しております。

## 2. 配当の状況

	1株当たり配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
21年3月期	—	6.50	—	4.50	11.00
22年3月期	—	5.50	—	—	—
22年3月期 (予想)	—	—	—	5.50	11.00

(注)配当予想の当四半期における修正の有無 無

## 3. 平成22年3月期の連結業績予想(平成21年4月1日～平成22年3月31日)

(%表示は対前期増減率)

	経常収益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	240,000	△6.6	51,000	442.5	33,000	166.2	36.92

(注)連結業績予想数値の当四半期における修正の有無 無

#### 4. その他

(1) 期中における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) 無

(2) 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 有

(注)詳細は、3ページ【定性的情報・財務諸表等】4. その他をご覧ください。

(3) 四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更(四半期連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項等の変更に記載されるもの)

① 会計基準等の改正に伴う変更 有

② ①以外の変更 無

(注)詳細は、3ページ【定性的情報・財務諸表等】4. その他をご覧ください。

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む) 22年3月期第3四半期 895,521,087株 21年3月期 895,521,087株

② 期末自己株式数 22年3月期第3四半期 1,764,933株 21年3月期 1,703,663株

③ 期中平均株式数(四半期連結累計期間) 22年3月期第3四半期 893,782,961株 21年3月期第3四半期 893,840,266株

#### ※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

業績予想に関する事項については、3ページ【定性的情報・財務諸表等】3. 連結業績予想に関する定性的情報をご覧ください。

【定性的情報・財務諸表等】

1. 連結経営成績に関する定性的情報

当第3四半期連結累計期間の経営成績につきましては以下のとおりとなりました。

経常収益は、金利の低下などによる資金運用収益の減少や役務取引等収益の減少などにより、前年同期比174億91百万円減少し1,767億29百万円となりました。経常費用は、有価証券関係損失の改善や預金利息などの資金調達費用の減少などにより、前年同期比441億61百万円減少し1,386億76百万円となりました。

これらの結果、経常利益は前年同期比266億69百万円増加し380億52百万円となり、四半期純利益は前年同期比185億30百万円増加し260億80百万円となりました。なお、1株当たり四半期純利益金額は29円18銭となりました。

事業の種類別セグメントの状況につきましては、銀行業務の経常収益は前年同期比169億21百万円減少し1,614億19百万円、経常利益は前年同期比264億86百万円増加し374億4百万円となりました。また、リース業務の経常収益は前年同期比7億92百万円減少し136億26百万円、経常利益は前年同期比2億21百万円減少し5億79百万円、その他業務の経常収益は前年同期比1億43百万円増加し26億68百万円、経常利益は前年同期比3億79百万円増加し2億21百万円となりました。

2. 連結財政状態に関する定性的情報

主要勘定の動きは、次のとおりとなりました。

預金は、さまざまな金融商品・サービスを品揃えし、給与振込や年金受取口座など家計のメインバンクとしてご利用いただくことを目指して活動してまいりましたことにより、当第3四半期末残高は前年度末比2,226億円増加し、8兆7,239億円となりました。

貸出金は、法人や個人のお客さまの資金調達ニーズに積極的に応えてまいりましたことにより、当第3四半期末残高は前年度末比1,970億円増加し、7兆1,527億円となりました。また、有価証券は、前年度末比344億円増加し、1兆9,275億円となりました。

これらの結果、総資産の当第3四半期末残高は、前年度末比2,861億円増加し、10兆3,490億円となりました。

3. 連結業績予想に関する定性的情報

平成21年11月13日に公表いたしました業績予想に変更はありません。

※なお、上記の業績予想は、現在当行が入手可能な情報及び現時点での判断、評価、事実認識に基づいた仮定を前提としております。実際の業績は、今後想定されるさまざまな要因（国内外の経済、金利・株式市場等の状況変化）によって異なる結果となる可能性があります。

4. その他

(1) 期中における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）

該当ありません。

(2) 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

① 簡便な会計処理

	当第3四半期連結累計期間(自平成21年4月1日至平成21年12月31日)
1. 減価償却費の算定方法	定率法を採用している有形固定資産については、年度に係る減価償却費の額を期間按分する方法により算定しております。
2. 貸倒引当金の計上方法	「破綻先」、「実質破綻先」に係る債権等及び「破綻懸念先」で個別の予想損失額を引き当てている債権等以外の債権に対する貸倒引当金につきましては、中間連結会計期間末の予想損失率を適用して計上しております。

	当第3四半期連結累計期間(自平成21年4月1日至平成21年12月31日)
3. 税金費用の計算	法人税等につきましては、年度決算と同様の方法により計算しておりますが、納付税額の算出に係る加減算項目及び税額控除項目は、重要性の高い項目に限定して適用しております。
4. 繰延税金資産の回収可能性の判断	繰延税金資産の回収可能性の判断につきましては、一時差異の発生状況について中間連結会計期間末から大幅な変動がないと認められるため、当該中間連結会計期間末の検討において使用した将来の業績予測及びタックス・プランニングの結果を適用しております。
5. 連結会社相互間の債権債務及び取引の相殺消去	連結会社相互間の債権債務につきましては、合理的な範囲内で、当該債権の額と債務の額の差異の調整を行わずに相殺消去しております。 連結会社相互間の取引につきましては、取引金額の差異を合理的な方法により相殺消去しております。

② 四半期連結財務諸表の作成にあたり適用した特有の会計処理

該当ありません。

(3) 四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更

四半期連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項等の変更

	当第3四半期連結累計期間(自平成21年4月1日至平成21年12月31日)
1. 連結の範囲に関する事項の変更	(1) 連結の範囲の変更 Chiba Capital Funding (Cayman) Ltd. (チバキャピタルファンディング(ケイマン)株式会社)は清算したことから、第2四半期連結会計期間より連結子会社から除外しております。 (会計方針の変更) 「連結財務諸表における子会社及び関連会社の範囲の決定に関する適用指針」(企業会計基準適用指針第22号平成20年5月13日)が平成20年10月1日以後開始する連結会計年度から適用されることになったことに伴い、第1四半期連結会計期間から同適用指針を適用しております。これによる影響はありません。 (2) 変更後の連結子会社の数 9社

5. 【四半期連結財務諸表】  
 (1) 【四半期連結貸借対照表】

(単位：百万円)

	当第3四半期連結会計期間末 (平成21年12月31日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成21年3月31日)
<b>資産の部</b>		
現金預け金	280,157	330,336
コールローン及び買入手形	92,380	37,000
債券貸借取引支払保証金	12,490	10,350
買入金銭債権	51,629	56,308
特定取引資産	476,786	392,404
金銭の信託	28,540	28,618
有価証券	1,927,515	1,893,075
貸出金	7,152,719	6,955,624
外国為替	3,778	2,750
その他資産	114,013	109,960
有形固定資産	95,599	96,746
無形固定資産	8,799	8,312
繰延税金資産	62,459	89,159
支払承諾見返	107,762	113,279
貸倒引当金	△65,551	△60,999
資産の部合計	10,349,080	10,062,926
<b>負債の部</b>		
預金	8,723,942	8,501,320
譲渡性預金	175,875	153,668
コールマネー及び売渡手形	101,636	53,050
売現先勘定	187,962	198,051
債券貸借取引受入担保金	112,768	67,291
特定取引負債	26,009	18,720
借入金	146,217	248,189
外国為替	167	436
社債	40,000	40,000
その他負債	101,729	93,845
役員賞与引当金	—	40
退職給付引当金	19,209	18,982
役員退職慰労引当金	1,156	1,374
睡眠預金払戻損失引当金	642	962
ポイント引当金	755	623
特別法上の引当金	27	35
繰延税金負債	35	57
再評価に係る繰延税金負債	15,245	15,323
支払承諾	107,762	113,279
負債の部合計	9,761,146	9,525,255

(単位：百万円)

	当第3四半期連結会計期間末 (平成21年12月31日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成21年3月31日)
純資産の部		
資本金	145,069	145,069
資本剰余金	123,385	123,387
利益剰余金	302,491	285,233
自己株式	△1,252	△1,219
株主資本合計	569,693	552,469
その他有価証券評価差額金	△165	△33,279
繰延ヘッジ損益	△2,256	△1,837
土地再評価差額金	7,662	7,777
為替換算調整勘定	—	△0
評価・換算差額等合計	5,240	△27,340
少数株主持分	12,999	12,541
純資産の部合計	587,933	537,671
負債及び純資産の部合計	10,349,080	10,062,926

(2) 【四半期連結損益計算書】  
【第3四半期連結累計期間】

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成20年4月1日 至平成20年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成21年4月1日 至平成21年12月31日)
経常収益	194,220	176,729
資金運用収益	138,523	123,841
(うち貸出金利息)	112,677	105,459
(うち有価証券利息配当金)	23,024	17,364
信託報酬	5	0
役務取引等収益	30,328	29,303
特定取引収益	3,545	2,650
その他業務収益	3,018	3,590
その他経常収益	18,798	17,342
経常費用	182,838	138,676
資金調達費用	27,870	14,339
(うち預金利息)	19,264	10,129
役務取引等費用	10,792	11,141
その他業務費用	25,170	1,489
営業経費	65,371	65,401
その他経常費用	53,633	46,305
経常利益	11,382	38,052
特別利益	3,944	5,564
固定資産処分益	223	42
償却債権取立益	3,539	5,514
金融商品取引責任準備金取崩額	180	7
特別損失	358	93
固定資産処分損	358	93
税金等調整前四半期純利益	14,967	43,522
法人税、住民税及び事業税	18,562	12,630
法人税等調整額	△11,565	4,293
法人税等合計	6,996	16,924
少数株主利益	421	517
四半期純利益	7,550	26,080

(3) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(4) セグメント情報

① 事業の種類別セグメント情報

前第3四半期連結累計期間 (自平成20年4月1日 至平成20年12月31日)

(単位:百万円)

	銀行業務	リース業務	その他業務	計	消去 又は全社	連結
経常収益						
(1)外部顧客に対する経常収益	177,565	14,155	2,498	194,220	—	194,220
(2)セグメント間の内部経常収益	775	263	27	1,065	(1,065)	—
計	178,340	14,419	2,525	195,285	(1,065)	194,220
経常利益 (△は経常損失)	10,917	801	△157	11,560	(178)	11,382

当第3四半期連結累計期間 (自平成21年4月1日 至平成21年12月31日)

(単位:百万円)

	銀行業務	リース業務	その他業務	計	消去 又は全社	連結
経常収益						
(1)外部顧客に対する経常収益	160,694	13,376	2,658	176,729	—	176,729
(2)セグメント間の内部経常収益	725	250	10	986	(986)	—
計	161,419	13,626	2,668	177,715	(986)	176,729
経常利益	37,404	579	221	38,205	(153)	38,052

(注) 1. 一般企業の売上高及び営業利益に代えて、それぞれ経常収益及び経常利益を記載しております。  
2. 事業区分は、連結会社の事業の内容により区分しております。なお、「その他業務」は、証券業等でありま  
す。

② 所在地別セグメント情報

全セグメントの経常収益の合計額に占める本邦の割合が90%を超えているため、所在地別セグメント情報の記載を省略しております。

③ 海外経常収益

海外経常収益が連結経常収益の10%未満のため、海外経常収益の記載を省略しております。

(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。



## 平成 21 年度第 3 四半期決算 説明資料

## 1. 損益の状況 (単体)

当行の第3四半期までの損益状況は順調に推移しております。

【業務純益（一般貸引繰入前）】 ～通期公表予想計数（計画）830億円に対する進捗率76.9%～

業務純益（一般貸引繰入前）は、業務粗利益が債券関係損益の改善などにより前年同期比202億円増加したことに加え、経費が前年同期比3億円減少したことに伴い、前年同期比206億円増加の638億円となりました。

【経常利益】 ～通期公表予想計数（計画）480億円に対する進捗率74.2%～

経常利益は、業務純益（一般貸引繰入前）の増加に加え、株式等関係損益の改善などにより前年同期比267億円増加の356億円となりました。

【四半期純利益】 ～通期公表予想計数（計画）320億円に対する進捗率78.8%～

四半期純利益は、特別損益における償却債権取立益の増加等により、前年同期比185億円増加の252億円となりました。

(単位：百万円)

	平成21年度 第3四半期 (9カ月)	平成20年度 第3四半期 (9カ月)	前年同期比	平成21年度 (公表値)	(参考) 平成20年度
<b>業 務 粗 利 益</b>	<b>123,625</b>	<b>103,334</b>	<b>20,291</b>		<b>142,182</b>
資 金 利 益	109,067	110,187	△1,119		146,666
役 務 取 引 等 利 益	10,130	11,968	△1,837		15,389
特 定 取 引 利 益	2,330	3,333	△1,003		4,799
そ の 他 業 務 利 益	2,097	△22,155	24,252		△24,672
うち債券関係損益	129	△24,449	24,578		△28,437
<b>経 費 ( 除 く 臨 時 処 理 分 )</b>	<b>59,731</b>	<b>60,088</b>	<b>△357</b>		<b>79,916</b>
<b>業 務 純 益 ( 一 般 貸 引 繰 入 前 )</b>	<b>63,894</b>	<b>43,245</b>	<b>20,648</b>	<b>83,000</b>	<b>62,265</b>
コ ア 業 務 純 益	63,764	67,694	△3,930	85,000	90,703
一 般 貸 倒 引 当 金 純 繰 入 額 ①	5,167	3,003	2,164		7,500
業 務 純 益	58,726	40,242	18,484		54,765
臨 時 損 益	△23,103	△31,352	8,249		△48,195
うち不良債権処理額②	22,309	22,440	△131		35,090
うち株式等関係損益	△456	△10,144	9,688		△14,585
<b>経 常 利 益</b>	<b>35,623</b>	<b>8,889</b>	<b>26,733</b>	<b>48,000</b>	<b>6,569</b>
特 別 損 益	5,438	3,238	2,200		4,980
うち償却債権取立益③	5,480	3,507	1,972		5,388
<b>四 半 期 ( 当 期 ) 純 利 益</b>	<b>25,239</b>	<b>6,675</b>	<b>18,563</b>	<b>32,000</b>	<b>11,324</b>
信 用 コ ス ト ( ① + ② )	27,476	25,444	2,032		42,590
実 質 信 用 コ ス ト ( ① + ② - ③ )	21,996	21,936	59		37,202

(注) コア業務純益＝業務純益（一般貸引繰入前）－債券関係損益

## 2. 貸出金・預金の残高（単体・末残）

○貸出金は、お客様のニーズに積極的にお応えすることにより、21年9月末比293億円増加し、7兆1,816億円となりました。預金は、個人預金の増加を主因に21年9月末比1,085億円増加の8兆7,521億円となりました。

○預り資産については、投資信託の残高が21年9月末比171億円増加の4,979億円、個人年金保険等の取扱保険料が前年同期比232億円増加の855億円と堅調に推移しました。

		(単位：億円)	(参 考)	(単位：億円)
		平成 21 年 12 月末	平成 21 年 9 月末	増 減
<b>貸</b>	<b>出 金</b>	<b>71,816</b>	<b>71,522</b>	<b>293</b>
	国内向け貸出	71,374	71,087	286
	事業者向け貸出	43,201	43,440	△ 239
	消費者ローン	25,015	24,552	462
	うち住宅ローン	23,953	23,477	476
	公共向け貸出	3,157	3,094	63
	うち中小企業等貸出 (中小企業等貸出比率)	55,221 (77.36%)	54,813 (77.10%)	407 (0.26%)
	海外向け貸出	441	434	7
<b>預</b>	<b>金</b>	<b>87,521</b>	<b>86,435</b>	<b>1,085</b>
	うち個人	68,473	66,938	1,534

(注) 中小企業等貸出比率 = 中小企業等貸出 / 国内向け貸出

(参 考) 投資信託の残高等

		(単位：億円)	(参 考)	(単位：億円)
		平成 21 年 12 月末	平成 21 年 9 月末	増 減
投資信託残高		4,979	4,808	171
うち個人		4,888	4,717	170
うち株式投資信託		4,893	4,716	176

  

		21年度第3四半期中(9カ月)	20年度第3四半期中(9カ月)	前年同期比
個人年金保険等(取扱保険料)		855	623	232

### 3. 金融再生法開示債権 (単体)

(単位：百万円)		(参 考)	
	平成 21 年 12 月末	平成 21 年 9 月末	増 減
破産更生債権及びこれらに準ずる債権	31,619	33,315	△ 1,695
危険債権	66,100	65,608	491
要管理債権	57,404	59,101	△ 1,697
合 計	155,124	158,024	△ 2,900
正常債権	7,175,953	7,137,293	38,660
不良債権比率	2.11%	2.16%	△ 0.05%

### 4. リスク管理債権の状況 (連結・単体)

#### 【連結】

(単位：百万円)		(参 考)	
	平成 21 年 12 月末	平成 21 年 9 月末	増 減
破綻先債権額	8,848	9,015	△ 166
延滞債権額	89,839	90,294	△ 454
3カ月以上延滞債権額	6,318	4,997	1,320
貸出条件緩和債権額	51,145	54,170	△ 3,025
合 計	156,151	158,477	△ 2,325
貸出金残高 (末残)	7,152,719	7,124,455	28,264
貸出金残高比	2.18%	2.22%	△ 0.04%

#### 【単体】

(単位：百万円)		(参 考)	
	平成 21 年 12 月末	平成 21 年 9 月末	増 減
破綻先債権額	9,199	9,433	△ 233
延滞債権額	87,890	88,918	△ 1,027
3カ月以上延滞債権額	6,318	4,997	1,320
貸出条件緩和債権額	51,086	54,104	△ 3,018
合 計	154,494	157,453	△ 2,958
貸出金残高 (末残)	7,181,630	7,152,242	29,387
貸出金残高比	2.15%	2.20%	△ 0.05%

5. 有価証券の状況

(1) 時価のある有価証券の評価差額・含み損益

【連結】

(単位：億円)

(参考)

(単位：億円)

	平成 21 年 12 月末			
	時価	評価差額・含み損益	うち	
			益	損
満期保有目的	338	△1	0	2
その他有価証券	18,215	△3	451	454
株式	1,461	70	258	187
債券	13,002	98	169	71
その他	3,751	△171	23	195
うち外国債券	3,188	△19	22	42

	平成 21 年 9 月末			
	時価	評価差額・含み損益	うち	
			益	損
満期保有目的	357	△1	0	2
その他有価証券	18,462	64	507	443
株式	1,621	178	336	157
債券	13,070	68	148	79
その他	3,770	△182	23	205
うち外国債券	3,207	△38	21	60

【単体】

(単位：億円)

(参考)

(単位：億円)

	平成 21 年 12 月末			
	時価	評価差額・含み損益	うち	
			益	損
満期保有目的	338	△1	0	2
その他有価証券	18,184	△9	442	451
株式	1,430	63	249	185
債券	13,002	98	169	71
その他	3,751	△171	23	194
うち外国債券	3,188	△19	22	42

	平成 21 年 9 月末			
	時価	評価差額・含み損益	うち	
			益	損
満期保有目的	357	△1	0	2
その他有価証券	18,430	57	498	440
株式	1,590	171	327	155
債券	13,070	68	148	79
その他	3,769	△182	23	205
うち外国債券	3,207	△38	21	60

- (注) 1. 「評価差額・含み損益」は、期末時点の帳簿価額(償却原価法適用後、減損処理後)と時価との差額を計上しております。  
 2. 「有価証券」のほか、「現金預け金」中の譲渡性預け金及び「買入金銭債権」中の信託受益権も含めております。  
 3. 変動利付国債等について、企業会計基準委員会「実務対応報告第 25 号」を適用した時価の見直しは実施しておりません。

(2) 有価証券関係損益 (単体)

(単位：百万円)

	平成 21 年度 第 3 四半期 (9 カ月)	平成 20 年度 第 3 四半期 (9 カ月)	前年同期比	(参考)
				平成 20 年度
国債等債券損益	129	△24,449	24,578	△28,437
売却益	1,522	721	801	1,942
償還益	—	—	—	—
売却損	393	8,562	△8,169	9,826
償還損	—	—	—	1,676
償却	1,000	16,607	△15,607	18,877
株式等関係損益	△456	△10,144	9,688	△14,585
売却益	1,311	255	1,055	283
売却損	430	99	330	123
償却	1,337	10,300	△8,963	14,745

以上